



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年9月1日
NO. 61



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~



大槌に届け!! 太中生の想い

大槌学園との交流は、今年度で12年目になります。コロナ禍の影響で、今年度も現地での被災地交流を中止しました。その代替として、天候はあいにくの雨でしたが、昨年同様、太田秋田ライオンズクラブ、太田支所、太田公民館を始めとして、たくさんの方々のご協力を得て、120個程度のプランターの花を大槌学園に送りました。さらに、昨年度、交流と絆の継続のため、花に加え全校生徒の写真に大槌学園の皆さんへのメッセージを載せたメッセージポスターを初めて送りましたが、今年度も生徒会で趣向を凝らして作成した、願いと心を込めたポスターも一緒に送り、心の交流に取り組みました。



被災地交流に限らず、一つのことを長い間続けることはとても難しいことです。労力や資金に問題が生じたり、開始当初の目的や意識が希薄になったりマンネリ化したり、社会情勢が変化したり、病災害が発生したりなど、様々な障害やアクシデントが起こります。しかし、続けるこ

とによって得られるものは、障害やアクシデントを凌ぐ大きな財産、教育的価値が高いものだと思います。多くの学校で終焉を迎えている被災地交流ですが、本校では今なお継続していますし、今後も続けたいという意欲をもち、生徒・職員が交流の意義を常に認識・共有しながら、形の変化はあれ、新たな創造も加えながら可能な限り継続していきたいと考えています。

大槌へのプランタを見送った後は、太田秋田ライオンズクラブ、太田支所、太田公民館等の方々への感謝の会を全校で行いました。その会で、自分も大槌交流に参加し、現在は太田支所に勤務する先輩の



明平美羽さんの、『自分の体験と今後への願い、太中生への期待』の言葉に、先輩方が築いてきた業績や取組への敬意、誇りと憧れ、今後も継承していこうとする気持ちを強くしたところです。さらに、毎年交流への補助もいただいている

ライオンズクラブ様からは、創立60周年を記念しての志を新たにいただきました。太中生の活躍を願う温かな慈しみには感謝しかありません。太中生を代表して、生徒会副会長戸嶋暖斗さんが太田秋田ライオンズクラブ様の期待に応えることができるよう、お礼の言葉を述べました。太田秋田ライオンズクラブの皆様、誠にありがとうございました。



太田中の特色ある活動の一つを通して、「相手を思いやる心」や「太田でよかった」との母校や地域への感謝や愛着が強まった1日となったものと思っています。